

今回ケースを材料にして、前分析＋分析をします。

<前分析>

① 印象 静か、丁寧、柔和で物静か。知的で理屈っぽいが、内面には熱いものがある。

② 健康度（2～3／10）

③ 予後

（良いレメディがある時）全身麻痺が軽減してゆく。麻痺の軽減とともに行動的になって行く。既に病を通じて変わって来ているが、頭での考え事・正しい事に固執し過ぎることから離れて、自責の念や内的葛藤が緩み、次第に自由になって行く。

（良いレメディがない時）全身の麻痺は、加齢とともに深刻になる。思うようには行動出来ず、自分の考え事の世界に閉じこもり、心も身体も固まったまま、次第に気力を失って行く。

④ 救急性 慢性

⑤ 治癒を妨げているものは？ 薬物の常用と、長期入院による手足関節筋肉の重い拘縮

⑥ 親和性（部位）神経、精神、

⑦ マヤズム傾向 Psor.または Sycosis

⑧ 全体性 慢性病 1 つ（または 2 つ）

⑨ バイタリティー 4～5／10

◎際立った点（症状）をピックアップ～特に SRP 的なところ

身体面

- ・全身麻痺（ギランバレー症候群）
- ・特に手足の麻痺、喉（咽頭・喉頭）の麻痺、
- ・長期入院による全身の衰弱
- ・赤面

精神面

- ・理想主義者。正義感。正しいことしかしたくない（子供っぽい）人でもある。
- ・真面目過ぎる、考え過ぎる。知的過ぎる。その考えごとに縛られている。
- ・正義感や反骨心は強いが、相手を傷つけまいとして争う事を避ける。
- ・宗教心。自責の念が強い。内的な葛藤。自分を責める。
- ・同情心（馬・犬など動物へ）
- ・人前が恥ずかしい。

◎統合＝病の中心 Wesen

- ・全身麻痺の人。特に手足。
- ・理想主義・正義感が強すぎて、その考えに縛られ過ぎている。
- ・内的葛藤・自制的過ぎる。内面の強い気持ちを外に出せないで自由を失っている。

◆統合＝「全身麻痺の理想主義者の 70 代男性」